

インド債券ファンド (毎月分配型)

追加型投信／海外／債券

日経新聞掲載名：インド債毎月

第23作成期 2023年5月27日から2023年11月27日まで

第133期 決算日
2023年6月26日

第134期 決算日
2023年7月26日

第135期 決算日
2023年8月28日

第136期 決算日
2023年9月26日

第137期 決算日
2023年10月26日

第138期 決算日
2023年11月27日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当作成期の状況

基準価額 (作成期末)	4,586円
純資産総額 (作成期末)	24,708百万円
騰落率 (当作成期)	+7.9%
分配金合計 (当作成期)	150円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

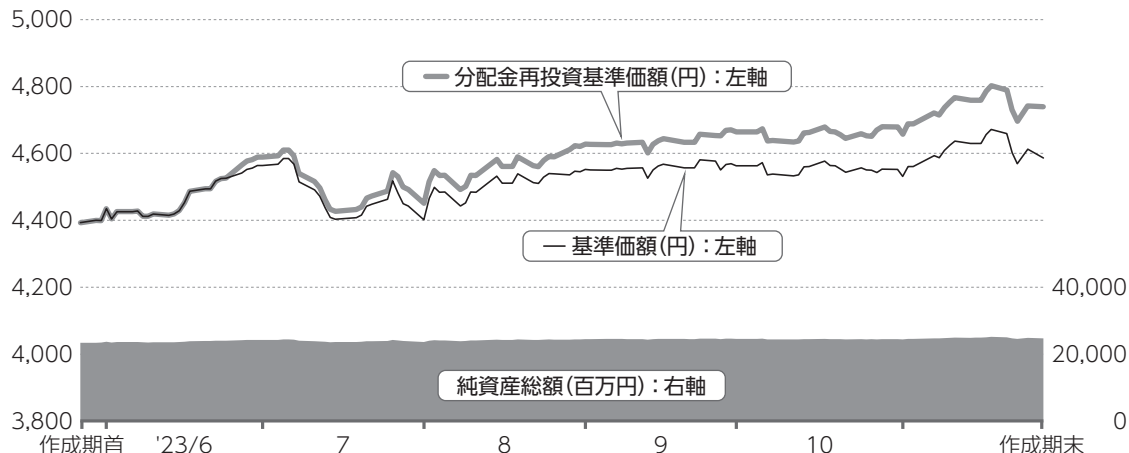
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について（2023年5月27日から2023年11月27日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	4,393円
作成期末	4,586円 (当作成期既払分配金150円(税引前))
騰落率	+7.9% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因（2023年5月27日から2023年11月27日まで）

投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資しました。外貨建資産については、米ドル建ての債券に投資を行った場合は実質的にインドルピー建てとなるよう為替取引を行いました。対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- インドルピー/円相場が上昇したこと
- 米国の長期金利(10年国債利回り)は上昇しましたが、米ドル建てインド債券の対米国債スプレッド(国債に対する上乗せ金利)は縮小し、期を通じてみれば、米ドル建てインド債券の価格が上昇したこと
- RBI(インド準備銀行)がインド国内のインフレ圧力が緩和したことで政策金利を据え置いたことから、期を通じてみれば、インドルピー建てインド債券の価格が上昇したこと

1万口当たりの費用明細（2023年5月27日から2023年11月27日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	25円	0.554%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は4,526円です。
（投信会社）	(7)	(0.148)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(18)	(0.389)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(-)	(-)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送入金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	25	0.557	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

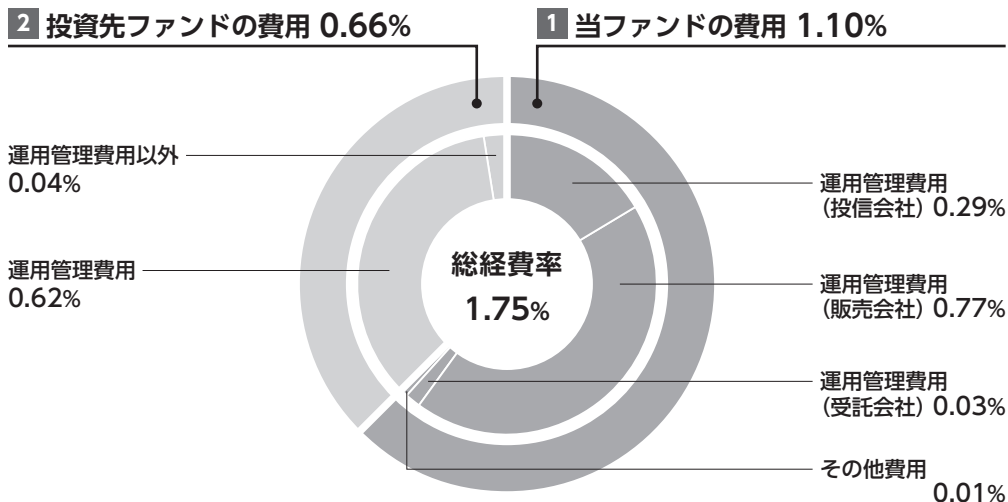
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1 + 2)	1.75%
1 当ファンドの費用の比率	1.10%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

※ **1**の各費用は、前掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ **2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.75%です。

最近5年間の基準価額等の推移について（2018年11月26日から2023年11月27日まで）

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2018年11月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2018.11.26 決算日	2019.11.26 決算日	2020.11.26 決算日	2021.11.26 決算日	2022.11.28 決算日	2023.11.27 決算日
基準価額 (円)	5,333	4,863	4,436	4,519	4,433	4,586
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	780	480	480	480	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.2	1.4	13.4	9.1	10.8
純資産総額 (百万円)	76,845	60,800	39,775	29,122	24,309	24,708

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について（2023年5月27日から2023年11月27日まで）

インドルピー建てインド債券市場と米ドル建てインド債券市場は共に上昇しました。為替市場では、インドルピーは円に対して上昇しました。

債券市場

インドルピー建てインド債券市場は上昇しました。インド国債利回りは上昇しましたが、クーポン収入を含めたトータルリターンはプラスとなりました。インドのCPI（消費者物価指数）は食品インフレの鎮静化により予想通り減速しました。コアCPIも落ち着いていたことから、RBIは当面の間金融政策を一時停止するとの期待が広がり、長期債利回りの上昇は小幅にとどまりました。

米ドル建てインド債券市場は上昇しました。米経済の底堅さを背景にFRB（米連邦準備制度理事会）が連続して利上げを実施するなど、タカ派（インフレ抑制を重視する立場）姿勢を維持したため、米国債の利回りはイールドカーブ（利回り曲線）全体で上昇しました。

9月にFRBが政策金利予測を変更して2024年に予想される利下げ幅を6月時点よりも縮小させたことから、利回りの上昇は10月下旬まで続きました。

社債スプレッドは、5月に投資家のリスクセンチメント（投資家心理）改善を受けて縮小

した後、安定的に推移しました。10月に米国債利回りが急上昇した局面では投資家のリスク回避姿勢が強まり一時的にスプレッドが拡大しましたが、期末にかけて再び縮小し、期を通じてみればスプレッドは縮小しました。

為替市場

インドルピーは期を通じてみれば対円で上昇しました。

インフレの鈍化に伴いFRBは利上げペースを減速させましたが、底堅い景気を背景に政策金利を長期間より高水準に維持するとの見方が広がり、主要通貨に対して米ドル高基調が継続しました。一方で日本はイールドカーブ・コントロールの修正を行ったものの、緩和的な金融政策を継続したことから、米ドル高・円安が進行しました。ただし、投資資金の純流入が続くインドではインドルピーの対米ドルでの下落が小幅に留まり、その結果、期を通じてみればインドルピー・円は上昇しました。

ポートフォリオについて（2023年5月27日から2023年11月27日まで）

当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド(クラスG)」および「コタック・フレキシー・デット・ファンド(クラスA)」を高位に組み入れることにより、運用を行いました。

K インディア・インカム・ファンド (クラスG)

主に米ドル建てのインド社債に投資しました。また、実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行いました。期を通じて、満期までの期間が7年から10年までの債券のウェイトを段階的に引き上げ、期初に約3.2年とした期末のデュレーション(投資資

金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度)を約4.3年としました。

コタック・フレキシー・デット・ファンド (クラスA)

主にインドルピー建てのインド債券に投資しました。ポートフォリオのデュレーションを10月まで低位に維持した後に、満期までの期間が7年から10年までの債券のウェイトを引き上げ、期初に約1.5年としたデュレーションを期末には約5.7年へ引き上げました。ポートフォリオの構成は引き続き国債、国営企業債、社債を中心とし、変動金利の国債から固定金利の国債への入れ替えを行いました。

ベンチマークとの差異について（2023年5月27日から2023年11月27日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2023年5月27日から2023年11月27日まで）

期間の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	(0.55%)	(0.55%)	(0.55%)	(0.55%)	(0.55%)	(0.54%)
当期の収益	25	21	25	25	24	25
当期の収益以外	-	3	-	-	1	-
翌期繰越分配対象額	567	564	566	566	565	567

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド（クラスG）」および「コタック・フレキシー・デット・ファンド（クラスA）」の高位組入れを通じて、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。

K インディア・インカム・ファンド（クラスG）

米ドル建てのインドの社債については、FRBが長期国債の入札を一時停止し、発行額を引き下げたことで、金利上昇圧力は若干

緩和されました。30年物長期国債利回りが5%という水準は借入コストとしてかなり高水準であるため、早晚ピークアウトすると考えていました。現在のFRBのスタンス次第では、年末が近づくに連れて利回り水準を抑制する方向に働く可能性があるともみており、ポートフォリオのデュレーションを長めに維持する方針です。

コタック・フレキシー・デット・ファンド（クラスA）

RBIは、食品価格の安定化によるインフレ圧力の緩和を受けて政策金利を6.5%に据え置き、中立スタンスを継続すると予想して

います。9月にインド国債が2024年6月よりJPモルガン新興国債券指数に採用されることが決定したことは、中長期的にインド国債とデュレーションにとってプラスであり、

この発表を受けてインドルピー建てポートフォリオのデュレーションを引き上げています。今後もポートフォリオのデュレーションを長めに維持する方針です。

3 お知らせ

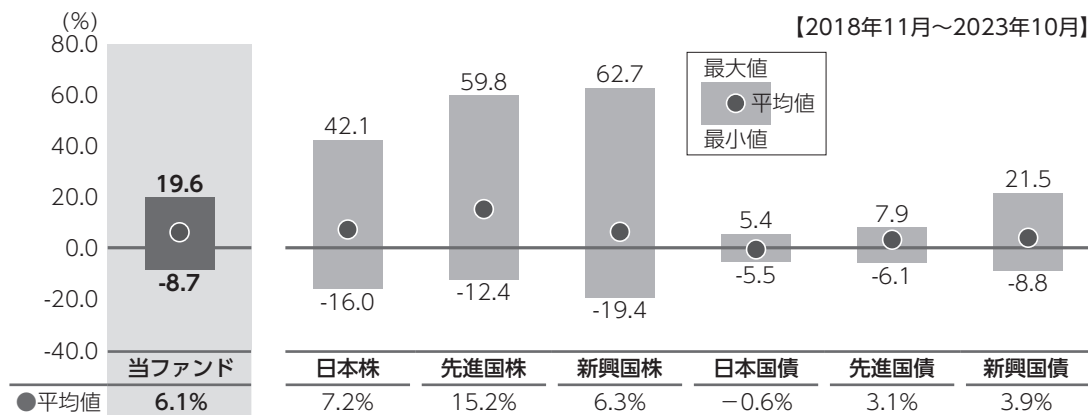
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券
信 託 期 間	2012年5月31日から2027年5月26日まで
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	<p>当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>K インディア・インカム・ファンド(クラスG) 米ドル建て等のインドの債券等</p> <p>コタック・フレキシィー・デット・ファンド(クラスA) インドルピー建ておよび米ドル建て等のインドの債券等</p>
当 フ ァ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つコタック・マヒンドラ・グループが行います。 ■原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ■毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

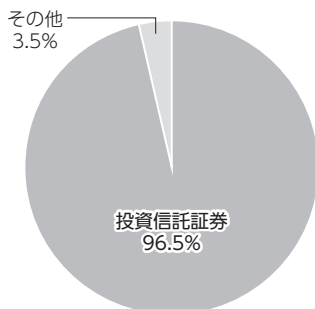
当ファンドの組入資産の内容（2023年11月27日）

組入れファンド等

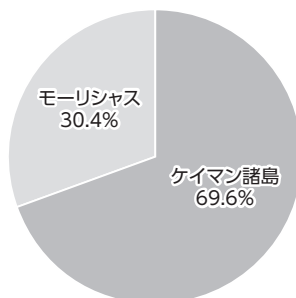
銘柄名	組入比率
Kインディア・インカム・ファンド(クラスG)	67.2%
コタック・フレキシィー・デット・ファンド(クラスA)	29.3%
コールローン等、その他	3.5%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

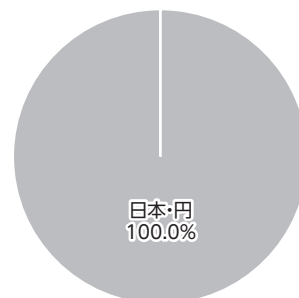
資産別配分（純資産総額比）



国別配分（ポートフォリオ比）



通貨別配分（純資産総額比）



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第133期末 2023年6月26日	第134期末 2023年7月26日	第135期末 2023年8月28日	第136期末 2023年9月26日	第137期末 2023年10月26日	第138期末 2023年11月27日
純資産総額 (円)	24,139,882,300	24,059,190,796	24,330,252,255	24,490,514,602	24,398,382,367	24,708,359,242
受益権総口数 (口)	53,155,843,459	53,691,288,550	53,636,229,272	53,812,848,322	53,706,349,787	53,881,575,913
1万口当たり基準価額 (円)	4,541	4,481	4,536	4,551	4,543	4,586

※当作成期における、追加設定元本額は4,835,589,294円、解約元本額は4,152,763,359円です。

組入上位ファンドの概要

K インディア・インカム・ファンド(クラスG) (2021年10月1日～2022年9月30日)

基準価額の推移以外は投資ファンドを含むシェアクラスで構成された「K インディア・インカム・ファンド」の情報で、コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント(シンガポール)から提供されたデータに基づき作成しています。

基準価額(円建て)の推移



※分配金再投資ベース

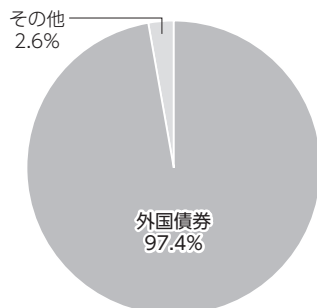
組入上位銘柄

(基準日：2022年9月29日)

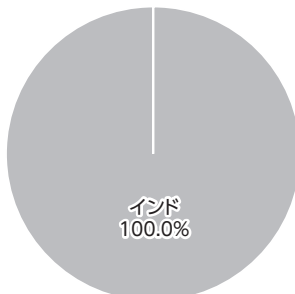
	銘柄名	通貨	クーポン	償還日	組入比率
1	Canara Bank 3.875% 28/03/2024	USD	3.875%	2024/03/28	8.5%
2	Abja Investments 5.95% 31/07/2024	USD	5.950%	2024/07/31	8.4%
3	Muthoot Finance 4.40% 02/09/2023	USD	4.400%	2023/09/02	6.8%
4	Indian Railway Finance 3.249% 13/02/2030	USD	3.249%	2030/02/13	6.4%
5	Hindustan Petroleum Corp 4.00% 12/07/2027	USD	4.000%	2027/07/12	6.3%
6	NTPC 3.75% 03/04/2024	USD	3.750%	2024/04/03	5.0%
7	Indian Oil Corp 4.75% 16/01/2024	USD	4.750%	2024/01/16	4.6%
8	EXIM Bank 3.875% 01/02/2028	USD	3.875%	2028/02/01	4.5%
9	Rural Electrification Corporation 5.25% 13/11/2023	USD	5.250%	2023/11/13	4.4%
10	OIL India 5.375% 17/04/2024	USD	5.375%	2024/04/17	4.3%
	全銘柄数			29銘柄	

※比率は純資産総額に対する割合

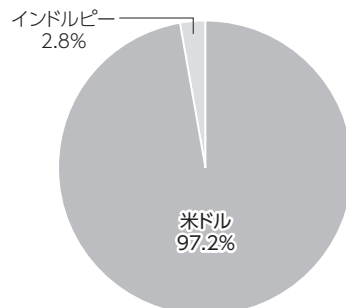
資産別配分（純資産総額比）



国別配分（ポートフォリオ比）



通貨別配分（純資産総額比）



※国別配分は原則発行国もしくは投資国を表示しています。

※基準日は2022年9月29日です。

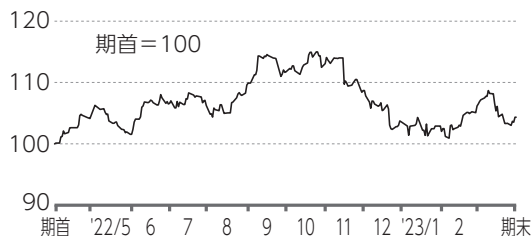
1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細は入手できるデータがないため記載していません。

コタック・フレキシィー・デット・ファンド(クラスA) (2022年4月1日～2023年3月31日)

基準価額の推移以外は投資ファンドを含むシェアクラスで構成された「コタック・フレキシィー・デット・ファンド」の情報で、コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント(シンガポール)から提供されたデータに基づき作成しています。

基準価額(円建て)の推移



※分配金再投資ベース

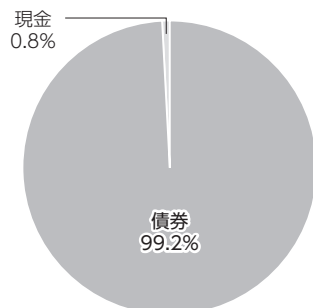
組入銘柄

(基準日：2023年3月31日)

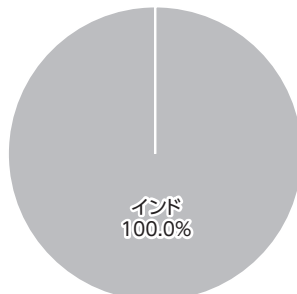
	銘柄名	通貨	利率	償還日	組入比率
1	7.42% FRB GOI 22/09/2033	INR	7.42%	2033/9/22	53.0%
2	5.74% GOI 15/11/2026	INR	5.74%	2026/11/15	32.0%
3	7.62% NABARD Limited 31/01/2028	INR	7.62%	2028/1/31	7.6%
4	5.15% GOI 09/11/2025	INR	5.15%	2025/11/9	6.1%
5	9.46% Power Finance Corporation Limited (SR 76 B) 01/08/2026	INR	9.46%	2026/8/1	0.3%
6	9.45% Power Finance Corporation Limited (SR 77-B) 01/09/2026	INR	9.45%	2026/9/1	0.1%
	全銘柄数			6銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。

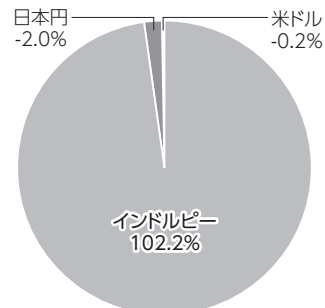
資産別配分（純資産総額比）



国別配分（ポートフォリオ比）



通貨別配分（純資産総額比）



※国別配分は原則発行国もしくは投資国を表示しています。

※基準日は2023年3月31日です。

1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細は入手できるデータがないため記載していません。